

**伝記・評伝
全情報
2019-2022**

西洋編

凡 例

1. 本書の内容

本書は、西洋人（非漢字圏の東洋人含む）の伝記、評伝、自伝、回想録、追想録、日記、書簡等の図書を網羅的に集め、被伝者の五十音順に排列した各種伝記・評伝類の総目録である。

2. 収録の対象

- (1) 2019（令和元）年から2022（令和4）年までの4年間に日本国内で刊行された商業出版物、政府刊行物、私家版などを収録した。
- (2) 児童書、絵本、漫画、ムック、展覧会カタログは収録しなかった。
- (3) 本書の収録点数は4,236点、見出しに立てた被伝者は3,031人である。

3. 見出し

- (1) 被伝者の本名、旧姓名、別名（筆名、芸名、通称等）のうち、原則として一般に最も知られているものを見出しとして採用し、必要に応じて不採用の名からも参照を立てた。
- (2) 原則として姓はカタカナ表記、名はイニシャルで表記した。“ヴ”音のカタカナ表記は、バ行・ワ行を用いて示した。
- (3) 判明する限り生（没）年を付した。
- (4) 人名の原綴は各種人名事典、原本などに拠った。

4. 見出し排列

- (1) 見出しの排列は、姓のカタカナ表記の五十音順、名のイニシャルのABC順とした。
- (2) 姓と名に分かちがたい人名は、全体を姓とみなして排列した。
- (3) 濁音・半濁音は清音とし、ヂ→シ、ヅ→スとした。促音・拗音は直音とみなし、長音符（音引き）は無視した。
- (4) 同一排列順位となる場合は、生年順とした。

5. 図書の排列

- (1) 各見出しのもとでは出版年月順に排列した。
- (2) 同一出版年月の図書は書名の五十音順に排列した。

6. 図書の記述

記述の内容と順序は次の通りである。

書名／副書名／巻次／各巻書名／著者表示／版表示／出版地（東京以外を表示）／出版者／出版年月／ページ数または冊数／大きさ／叢書名／叢書番号／注記／定価（刊行時）／ISBN(①で表示)／NDC(②で表示)／内容

7. 原綴索引

- (1) 本文に収録した被伝者名の原綴と、そのカタカナ表記、本文での掲載ページを示した。
- (2) 排列は姓のABC順、名のABC順とし、姓と名に分かちがたい人名は全体を姓とみなして排列した。
- (3) McはMacとして排列した。冒頭の冠詞al-は排列上無視した。
- (4) アクセント記号等がついた文字は、記号のない文字と同じとみなして排列した。

8. 書誌事項等の出所

本目録に掲載した各図書の書誌事項等は、主に次の資料に拠っている。

データベース「BookPlus」

JAPAN/MARC

TRC MARC

目次

【ア】

アイガー, R. 1
 アイゼンハワー, D. 1
 アイダ・ネリナ 1
 アイヒホルン, E. 1
 アイヒマン, A. 1
 アイヒンガー, I. 1
 アイラー, A. 1
 アイリッシュ, B. 2
 アイリッシュマン ⇒シーラ
 ン, F.を見よ
 アインシュタイン, A. 2
 アインシュタイン・マリッ
 チ, M. 3
 アウグストゥス 3
 アウベス, R. 4
 アウラングゼーブ 4
 アウン・サン 4
 アウン・サン・スー・チー 4
 アエミリウス・パウルス ⇒
 パウルス・マケドニクス,
 L.A.を見よ
 アオキ, エリザベート・フォ
 ン・ラーデ ⇒ラーデ, E.
 を見よ
 アガンベン, G. 5
 アギスIV 5
 アキテーヌ女公 ⇒アリエ
 ノール・ダキテーヌを見よ
 アクエンアテン ⇒アメンホ
 テプIVを見よ
 アクバル 5
 アサド, B. 5
 アサド, H. 5
 アザム, J. 6
 アジュンデ, S. 6
 アシュラフッディーン・
 ギャラーニー, S. 6
 アシーフ, J. 6
 アシラティ, B. 6
 アスター, N.W. 6
 アステル, M. 6
 アスピナル, V. 7
 アスベルガー, H. 7
 アスルドゥイ, J. 7
 アゼアン・イルタワティ 7
 アタテュルク, M.K. 7
 アタナソフ, J.V. 8
 アダムス, A. 8
 アダムス, A.P. 8

アダムズ, B.T. 8
 アダムズ, H. 8
 アダムズ, J. 8
 アダムズ, W. 8
 アタルヤ 9
 アーダーン, J. 9
 アダンソン, M. 9
 アッシュャー, P. 10
 アッディマシュキー, ユー
 スフ 10
 アップバスI 10
 アップダイク, J. 10
 アディソン, エリーナ・グ
 レース 10
 アディーチェ, C.N. 11
 アデナウアー, K. 11
 アド, P. 11
 アドキンソン, D. 11
 アドラー, A. 11
 アトリー, C. 11
 アナクサゴラス 11
 アナクシマンドロス 12
 アナクシメネス 12
 アナスヤー・デービ 12
 アンナダムマイヤー・マー
 12
 アヌ 12
 アンネット, A. 12
 アハズ 12
 アバド, C. 12
 アビラのテレサ ⇒テレサ
 (アビラの)を見よ
 アブー・アッスウード・ア
 ルハスィービー, ムハン
 マド 12
 アブガー, V. 13
 アブサロム 13
 アブド・アルカーディル・
 アルジャザイリー, A. 13
 アブドゥッラー-II・イブ
 ン・アル・フセイーン 13
 アブドゥラ 13
 アブドゥルカリーム 13
 アブドゥル・ラザック・ビ
 ン・アブドゥル・ハミド 14
 アブドゥルハミドII 14
 アブドラー・ザ・ブッ
 チャー 14
 アフマド・ウマル 14
 アフマド・マフドゥーム ⇒
 ダーニシュを見よ
 アフメトIII 14
 アフメト・ミドハト 14
 アブラハム, K. 15
 アブラムソン, E. 15
 アブロー, V. 15

アベベ・ビキラ 15
 アベリー, オズワルド ⇒エ
 イブリー, O.を見よ
 アボーン, アドウォア ⇒アボ
 アー, A.を見よ
 アボアー, A. 15
 アマイダン・サラール 15
 アマーティ, S. 15
 アマラスンタ 15
 アーミット, M.L. 15
 アミン, I. 16
 アムジャザーデ・ヒュセイ
 ン・バシヤ 16
 アームストロング, D.R. 16
 アームストロング, L. 16
 アームストロング, N.A. 16
 アムリターナダーマイ,
 M. 16
 アムンセン, R. 17
 アメンホテプIV 17
 アライア, A. 17
 アラウディン・リアキッ
 ト・シャー・アルカハル 17
 アラートス 17
 アリ, M. 17
 アリエノール・ダキテーヌ 17
 アリストテッポス 18
 アリストテレス 18
 アリスメンディ, E. 18
 アリバシッチ, S. 18
 アリミ, G. 18
 アリンスキー, S. 19
 アルカン, C.V. 19
 アルキメデス 19
 アルキュタス 19
 アルグエヨ, K. 19
 アルゲリッチ, M. 19
 アルコーン, A. 19
 アルシノエII 20
 アルタクセルクセスI 20
 アルタクセルクセスII 20
 アルタクセルクセスIII 20
 アルト, A. 20
 アルトマン, M. 20
 アルノー, B. 21
 アルバーティン, V. 21
 アルバート(イギリス王
 配) 21
 アルバレス, F. 21
 アルヒブリー, A.Y. 21
 アルビーリー, ユースフ 22
 アルフト・ミドハト 22
 アルファキー・アフマド・ウ
 マル ⇒アフマド・ウマル
 を見よ
 アルフレッド大王 22

アル・フワーリズミー 22
 アルベニス, I. 22
 アルベールII 22
 アルベルティ, L. 22
 アルマーニ, G. 22
 アルマンド, I. 22
 アルメイダ, L. 23
 アルワリード・ビン・タ
 ラール 23
 アレキサンダー大王(アレク
 サンダー大王) ⇒アレク
 サンドロスIIIを見よ
 アレクサンデルVI 23
 アレクサンドラ・オブ・デ
 ンマーク 23
 アレクサンドラ・フォード
 ロブナ 23
 アレクサンドルI 23
 アレクサンドルII 24
 アレクサンドル・ネフス
 キー 24
 アレクサンドロスIII 24
 アレクサンドロス大王 ⇒ア
 レクサンドロスIIIを見よ
 アレクサンドロピッチ, C.
 H. 25
 アレクシ, J. 25
 アレクシエービッチ, S. 25
 アレッサンドロ・デ・メ
 ディチ 25
 アレトクローバ, Z. 25
 アレナード, N. 25
 アーレフ・ガズビーニー,
 A. 25
 アレン, A.L. 26
 アレン, D. 26
 アレン, L. 26
 アレン, M. 26
 アレン, R. 26
 アレン, W. 26
 アーレント, H. 27
 アロースミス・ヤング, B. 27
 アーロン, H. 27
 アロンソ, P. 28
 アンクル, C. 28
 アンクル, J.A.D. 28
 アンジェリコ ⇒フラ・アン
 ジェリコを見よ
 アンスコム, E. 28
 アンセルムス 28
 アンゾフ, H.I. 28
 アンソール, J. 29
 アンティオコスIV 29
 アンティステネス 29
 アンティフォン 29

アンテトクンボ, G. 29
 アンデルセン, H.C. 29
 アントニー(キエフの) 29
 アントニウス, M. 29
 アントネロ・ダ・メッシー
 ナ 30
 アンドリーセン, M. 30
 アンドレア, Y. 30
 アンドレア・デル・カス
 ターニョ 30
 アンドレ・ザ・ジャイアン
 ト 30
 アンドレス, J. 30
 アンヌ・ドートリッシュ 31
 アンファンタン, P. 31
 アン・ブーリン 31
 アンリ(ルクセンブルク大
 公) 31
 アンリI(ギーズ公) ⇒
 ギーズ, H.を見よ
 アンリIII 31
 アンリIV 31
 アンリ, M. 32

【イ】

イアハート, A. 32
 イエイツ, W.B. 32
 イェオ・ヤンヤン 32
 イェシエー・ギヤムツォ ⇒
 新ダライ・ラマVIを見よ
 イェス ⇒キリストを見よ
 イェスのテレジア ⇒テレサ
 (アビラの)を見よ
 イーガー, E. 32
 イグナティウス・デ・ロヨ
 ラ 32
 イクナートン ⇒アメンホテ
 プIVを見よ
 イゲ, T.H. 32
 イサベルI(カスティエー
 リヤ女王) 33
 イサベル・モクテスマ 33
 イザボー・ド・バビエール 33
 イシグロ, K. 33
 イシゴニス, A. 33
 イシャウッド, C. 33
 イシャウッド, F. 33
 イシャウッド, K. 33
 イスカンダル・ムダ 34
 イーストマン, G. 34
 イスマーイールI 34
 イスマーイール・ハック・ブ
 ルセビー 34
 イゼベル 34
 イソクラテス 34

イーディ, J. 34
 イートン, S. 34
 イニエスタ・ルハン, A. 34
 イバシコフ, Z. 35
 イバーノフ=ラズームニク 35
 イブラヒムI 35
 イブラヒム・バシヤ, N. 35
 イブラヒム・ミュテフェッ
 リカ 35
 イブラーヒーム・ロー
 ディー 35
 イブラヒモビッチ, Z. 35
 イブン・バットウータ 35
 イブン・ハルドゥーン 36
 イームズ, C. 36
 イームズ, R. 36
 イメルト, J. 36
 イリブ, P. 36
 イルミセキズ・メフメト・
 チェレビー 37
 イレーネ ⇒エイレーネーを
 見よ
 イワンIII 37
 イワンIV 37
 イングラム, C. 37
 イングラム, M. 37
 インサル, S. 38
 イングコ ⇒ヤコボ・トルニ
 を見よ
 インドラバルマンI 38

【ウ】

ウィクリフ, J. 38
 ウィンチェスター ⇒
 サングマリ, W.を見よ
 ウィッシュマン, D. 38
 ウィッテ, S. 38
 ウィットフォークル, K. 38
 ウィテカー, N. 39
 ウィード, J.A. 39
 ウィドゥソン, E. 39
 ウィトゲンシュタイン, L. 39
 ウィトゲンシュタイン, P. 39
 ウィニコット, D.W. 40
 ウィーバー, H. 40
 ウィラード, J. 40
 ウィリアムIII 40
 ウィリアム皇太子 40
 ウィリアムズ, E. 41
 ウィリアム, G. 41
 ウィリアムス, S. 41
 ウィリアムズ, W. 41
 ウィリス, W. 41
 ウィルソン, B. 41
 ウィルソン, E. 41

1731年) メアリ・ウルストンクラフト(1759~1797年) ハリエット・テイラー・ミル(1807~1858年) ジョージ・エリオット(メアリー・アン・エヴァンズ)(1819~1880年) [ほか]

*男性の名前ばかりがずらりと並ぶ哲学の歴史。しかしその際には、知的活動に一生をかけた数多くの有能な女性哲学者たちがいた。知の歴史に大きなインパクトを与えながらも、見落とされてきた20人の女性思想家たちを紹介する。

エリオット, T.S. [1888~1965]

Eliot, Thomas Stearns

◇化粧した影—T・S・エリオットの最初の妻ヴィヴィアンヌ・エリオットの生涯 キャロル・シーモア＝ジョーンズ著, 村田俊一訳 松柏社 2021.4 11,1024p 22cm (著作目録あり) 文献あり) 9500円 ①978-4-7754-0263-4 ②289.3

*T・S・エリオットの最初の妻ヴィヴィアンヌ。彼女の未公開のノートブック、日記、書簡類、小品を通して、神経症を抱えた彼女の寂しさと悲しさを秘めた生涯と、妻から見た詩人エリオットの突人人生の一端を明らかにする。

エリオット, V. [1888~1947]

Eliot, Vivienne

◇化粧した影—T・S・エリオットの最初の妻ヴィヴィアンヌ・エリオットの生涯 キャロル・シーモア＝ジョーンズ著, 村田俊一訳 松柏社 2021.4 11,1024p 22cm (著作目録あり) 文献あり) 9500円 ①978-4-7754-0263-4 ②289.3

*T・S・エリオットの最初の妻ヴィヴィアンヌ。彼女の未公開のノートブック、日記、書簡類、小品を通して、神経症を抱えた彼女の寂しさと悲しさを秘めた生涯と、妻から見た詩人エリオットの突人人生の一端を明らかにする。

エリオット, G. [1918~1999]

Eliot, Gertrude Belle

◇世界を変えた10人の女性科学者—彼女たちは何を考え、信じ、実行したか キャサリン・ホイットロック、ロドリ・エバンス著, 伊藤伸子訳 京都 化学同人 2021.8 340p 19cm (文献あり 索引あり) 2600円 ①978-4-7598-2041-6 ②402.8

内容 1 ヴェージニア・アブガー(小児科・麻酔科医師・医学者。1909~1974) 2 レイチェル・カーソン(生物学者・作家。1907~1964) 3 マリー・キュリー(物理学者・化学者。1867~1934) 4 ガートルード・エリオン(生化学者・薬理学者。1918~1999) 5 ドロシー・ホジキン(化学者・結晶学者。1910~1994) 6 ヘンリエッタ・リービット(天文学者。1868~1921) 7 リータ・レーヴィ＝モンタルチーニ(神経学者。1909~2012) 8 リーゼ・マイトナー(物理学者。1878~1968) 9 エルシー・ウィドゥソン(化学者・栄養学者。1906~2000) 10 呉健雄(物理学者。1912~1997)

*レイチェル・カーソン、マリー・キュリー、ヘンリエッタ・リービット…。あくなき知識欲や粘り強さ、信念を曲げない気性、洞察力などを持った10人の女性科学者を取り上げ、その栄光と苦悩を伝える。

エリクソン, M.H. [1901~1980]

Erickson, Milton H.

◇ミルトン・エリクソン—魔法使いの秘密の「ことば」 澤野雅樹著 法政大学出版局 2019.9 339,5p 20cm (文献あり) 表紙のタイトル: Milton Erickson) 3400円 ①978-4-588-18216-7 ②146.8

内容 第1章 誕生—ミルトン・エリクソンができるまで 第2章 無意識 第3章 言語の運用、または命令にしたがうということ 第4章 対人関係と人称性の構造 第5章 ダブルバインドの層位学 第6章 形式と実質 第7章 ゲームの規則

*その人の抱える問題の最適解をどうすれば引き出せるのか。言語と身体とのつながり、文と心身とのつながり、発語と情緒のつながり、そして言語と人の生死とのつながり—エリクソンの問いかけとともに、伝統的な哲学や言語学の境界を超えて、新たな地平に踏み出す。

◇ミルトン・エリクソン—その生涯と治療技法 ジェフリー・K・ザイグ、W・マイケル・ムニオン著, 中野善行, 虫明修訳 新装版 金剛出版 2019.9 193p 21cm (文献あり) 3200円 ①978-4-7724-1717-4 ②146.8

内容 第1章 ミルトン・H.エリクソンの生涯(概観 催眠に目覚める ほか) 第2章 エリクソンの貢献(エリクソンの主要な貢献 治療力(Healing Agent)としての無意識 ほか) 第3章 主要な技法(催眠 メタフォー ほか) 第4章 批判と反論(理論的批判 倫理的批判 ほか) 第5章 ミルトン・エリクソンの総合的な影響(催眠療法 デモンストレーション ほか)

*心理療法師ミルトン・エリクソンの生涯と治療技法を理解するための入門書。催眠、メタフォー、逸話、含意、迎説介入等による面接の技術的エッセンスをエピソードとともに解説。エリクソンへの批判と反論や影響についても言及。

◇ミルトン・エリクソン/アメリカン・ヒーラー ベティ・アリス・エリクソン、ブラッドフォード・キーニー編, 横井勝美, 中田美穂訳 金剛出版 2021.12 355p 22cm (付属資料: DVD ビデオディスク(1枚 12cm) 文献あり) 5200円 ①978-4-7724-1863-8 ②289.3

内容 第1章 アメリカン・ヒーラー 第2章 父の思い出 第3章 さらなる思い出話 第4章 おじいちゃんの手紙 第5章 カヌー日記と写真アルバム 第6章 臨床ケース 第7章 ささまざまな意識状態の性質と特徴に関するオルガス・ハクスリーの特別調査 第8章 ヒーラーとしてのエリクソン—友人や同僚による回想

*優れた催眠療法師、精神科医、研究者であり、良き夫、父親であったミルトン・エリクソン。貴重な資料と証言から天才的セラピストの全貌に迫り、彼が本物のヒーラーであったことを明らかにする。面接(字幕入り)DVD付き。

エリザベス(皇太后) [1900~2002]

Elizabeth, the Queen Mother

◇ロイヤルスタイル英国王室ファッション史 中野香織著 吉川弘文館 2019.7 219,3p 20cm (文献あり) 2200円 ①978-4-642-08355-3 ②288.4933

内容 ロイヤルスタイルとは何か—プロローグ 第1部 エリザベス2世をめぐる物語(エリザベス2世とフィ

リップ殿下 女王陛下の妹プリンセス・マーガレット 女王陛下の伯父エドワード8世とウォリス・シンプソン 女王陛下の母エリザベス・バウズ＝ライアン) 第2部 ヴィクトリア女王とアルバート公、その長男をめぐる物語 第3部 ダイアナ妃とその息子たちをめぐる物語 第4部 ロイヤルジェントルマン 番外編 アメリカの「ロイヤルスタイル」—ファーストレディの責務とファッション

*個性ある生き方とファッションで世界の関心を惹きつける英国王室。装いや言動、恋愛や結婚は何を示し、人々はいかに受け止めたのか。威光と親しみやすさを共存させてきた英王室の歴史、そして気高い生き方を考える。

エリザベス I [1533~1603] Elizabeth I

◇世界史を作ったライバルたち 上 アレクシス・ブレゼ、ヴァンサン・トレモレ・ド・ヴィレル編, 神田順子, 村上尚子, 田辺希久子, 大久保美春訳 原書房 2019.4 262p 20cm 2000円 ①978-4-562-05644-6 ②209

*アレクサンドロス大王vsダレイオス1世からフェリペ2世とエリザベス1世まで、世界史の重要なターニングポイントを形成した偉大な人物たちに焦点をあて、それぞれの時代のライバルたちの迫真のドラマを浮き彫りにする。

◇美女たちの西洋美術史—肖像画は語る 木村泰司著 光文社 2019.10 281p 16cm (光文社知恵の森文庫 tき6-1) (文献あり) 2010年刊の加筆・修正) 1000円 ①978-4-334-78776-9 ②723.05

内容 美術史の中の肖像画 マリー・ド・ブルゴーニュ—ハプスブルク家の繁栄を築いた美女 イザベラ・デステール—ネサスの熱狂を生きた美女 アニエス・ソレル—聖母になぞえられた公式寵姫 ディアヌ・ド・ポワティエ—苦境に屈しない永遠の美 アン・ブーリン—野心で愛を勝ち取り、処刑された悲劇の王妃 エリザベス1世—王国の偶像となり、国家と運命を共にした女王 [ほか]

*西洋美術史を華やかに彩った麗人たちの肖像画。その笑顔の裏には何が? 画家が描き出そうとしたものとは? 1枚の絵画にミステリーのように浮かび上がる彼女たちの運命、愛憎と性、悲喜劇を読み解く。

◇独身偉人伝 長山靖生著 新潮社 2021.10 205p 18cm (新潮新書 925) (文献あり) 740円 ①978-4-10-610925-6 ②280

*エリザベス1世、マザー・テレサ、ニュートン、カント、津田梅子、小津安二郎…。直接の子孫こそなくとも、偉大な事績を遺した「おひとりさま」19人の言行と信念から、本当の意味の「自分らしさ」とは何かを考える。

エリザベス II [1926~2022] Elizabeth II

◇一流と日本庭園 生島あゆみ著 CCCメディアハウス 2019.4 295p 19cm (文献あり) 1600円 ①978-4-484-19209-3 ②629.21

*足利義満は金閣寺を、桶盛和夫は和輪庵を造った。富と名声を手に入れた先で、成功者たちが日本庭園に求めたこととは? 歴史に名を残した人間たちの歩みと日本庭園の深い関係を紹介する。

◇ロイヤルスタイル英国王室ファッション史 中野香織著 吉川弘文館 2019.7 219,3p 20cm (文献あり) 2200円 ①978-4-642-08355-3 ②288.4933

内容 ロイヤルスタイルとは何か—プロローグ 第1部 エリザベス2世をめぐる物語(エリザベス2世とフィリップ殿下 女王陛下の妹プリンセス・マーガレット 女王陛下の伯父エドワード8世とウォリス・シンプソン 女王陛下の母エリザベス・バウズ＝ライアン) 第2部 ヴィクトリア女王とアルバート公、その長男をめぐる物語 第3部 ダイアナ妃とその息子たちをめぐる物語 第4部 ロイヤルジェントルマン 番外編 アメリカの「ロイヤルスタイル」—ファーストレディの責務とファッション

*個性ある生き方とファッションで世界の関心を惹きつける英国王室。装いや言動、恋愛や結婚は何を示し、人々はいかに受け止めたのか。威光と親しみやすさを共存させてきた英王室の歴史、そして気高い生き方を考える。

◇まるわかり世界の王室—あまり知られていない王室の世界 清水書院編集部編 清水書院 2019.8 175p 26cm (文献あり) 2800円 ①978-4-389-50096-2 ②288.49

*世界史に27ある皇室・王室の歴史から現在の姿まで、オールカラーでビジュアルで紹介。皇室・王室の成り立ち、役割、伝統衣装などのほか、「議会が国王をクビにできる国」といったユニークな特徴も掲載する。

◇エリザベス女王—史上最长・最強のイギリス君主 君塚直隆著 中央公論新社 2020.2 288p 18cm (中公新書 2578) (文献あり) 年譜あり) 900円 ①978-4-12-102578-4 ②289.3

内容 第1章 リリベットの世界大戦—王位継承への道(第一次世界大戦後のイギリス 大衆民主政治のなかで ほか) 第2章 老大国の若き女王—25歳での即位(ケニアで聞いた訃報 エリザベス2世の即位 ほか) 第3章 コモンウェルス女王陛下—一九七〇~八〇年代(CHOGM)の形成 EC加盟交渉とヒースとの確執 ほか) 第4章 王室の危機を乗り越えて—ダイアナの死と在位50周年(女王の身の危険—マイケル・フェーガン事件 「ひどい年」と王室の試練 ほか) 第5章 連合王国の象徴として—21世紀の新しい王室(王室改革への道—活動記録の公開へ 王室の歳費—国民最大の「誤解」 ほか)

*1952年に25歳で英国の王位に即位したエリザベス女王。カナダ、オーストラリアなど16カ国の元首でもある彼女は、数多くの事件に遭遇し、政治にも関与してきた。イギリス現代史をたどりながら、女王の人生を描く。

◇王女物語—エリザベスとマーガレット マリオン・クローフォード著, 中村妙子訳 みすず書房 2020.10 287p 20cm 3600円 ①978-4-622-08941-4 ②289.3

内容 ご一家に加わる ロイヤル・ロッジとピカデリー—四番地のお住まい ジョージ五世陛下の治世の終わり パッキンガム宮殿へ 国王陛下のご政務開戦「田舎の家」 ガスマスクとバントマイム Vデーとロンドンへの帰還 エリザベスとフィリップご結婚 マーガレット王女の幼い甥

*王位継承権第2位のヨーク公の第一王女、リリベットの将来エリザベス女王として位につくことなど、誰ひとり予想していなかった王女5歳の秋より、少女時代、青春の日々をともに宮殿に暮らした女性、「クローフィー」による回想録。

◇エリザベス二世—女王陛下と英国王室の歴史 ロッド・グリーン著, 龍和子訳 原書房 2021.5 325p 22cm (フォート・ストリー) (索引あり) 3800円 ①978-4-562-05917-1 ②289.3

内容 第1章 新たな王朝の創設 第2章 危機にある王

オーストンを引き合わせた 第1章 古い標本の向こうに見えてくるもの 第2章 動物学誕生前後、残された動物たちの記録 第3章 日本の動物学の夜明け 第4章 ロスチャイルドと海南島の採集人 第5章 オーストンの交流歴 第6章 一〇〇年前の横浜 第7章 オーストンを追って、一〇〇年の時を越える旅へ

*世界の博物館に眠る、日本産動物の古い標本。これらはいづ、誰の手で、どういう経緯で取られたのか。日本の動物学・博物学の黎明期にその発展を支えた、イギリス人貿易商アラン・オーストンの功績を追う。

オスプレイ, W. [1993~] Osprey, Will

◇古今東西プロレスラー伝説—新日本プロレスの名レフェリーが明かす タイガー服部著 ベースボール・マガジン社 2020.2 271p 19cm 1600円 ①978-4-583-11269-5 ②788.2

*メジャー団体の歴史的試合を数多く裁いたレジェンド・レフェリーが、プロレスラーたちの知られざる素顔、リング内外の仰天エピソードを明かす。オカダ・カズチカとの特別対談も収録。『週刊プロレス』連載をもとに単行本化。

オスマン I [1258~1326] Osman I

◇オスマン帝国英傑列伝—600年の歴史を支えたスルタン、芸術家、そして女性たち 小笠原弘幸著 幻冬舎 2020.9 328p 18cm (幻冬舎新書 お-29-1) (文献あり) 960円 ①978-4-344-98598-8 ②282.74

【内容】第1章 オスマン一世—王朝の創始者たる信仰戦士 [ほか]

*イスラム社会の覇者として君臨したオスマン帝国。優れた改革を推し進めたスルタン、西洋列強に劣らぬ文化を確立した芸術家、政治に影響を与えた女性など、多様な経歴の10人の人生を通して、大國の興亡をひもとく。

オスマン, G. [1809~1891]

Hausmann, George-Eugène

◇本当は偉大だった嫌われ者リーダー論 鹿島茂著 集英社 2019.12 447p 20cm (年譜あり) 2300円 ①978-4-08-786077-1 ②280

【内容】第1章 フランスを戦勝国に導いた大統領 シャルルド・ゴール 第2章 「花の都パリ」を生み出したスーパー官僚 ジョルジュ・ウージェヌ・オスマン 第3章 フランスを統一国家として強國に育てた宰相 リュルイエー 第4章 「台湾人」のための「台湾」を築いた中華民国総統 蔣経國 第5章 朝廷を尊重し、内戦を回避した最後の将軍 徳川慶喜

*雑音は聞かない！自分の直感を信じよ！未来が見えているのは自分だけ。いつか歴史が、正しさを証明してくれる!!たとえどんなに嫌われても、信念を貫いた5人の嫌われ者リーダーたちの物語。

オスマン・ハムディ・ベイ [1842~1910]

Osman Hamdi Bey

◇オスマン帝国英傑列伝—600年の歴史を支えたスルタン、芸術家、そして女性たち 小笠原弘幸著 幻冬舎 2020.9 328p 18cm (幻冬舎新書 お-29-1) (文献あり) 960円 ①978-4-344-98598-8 ②282.74

【内容】第8章 オスマン・ハムディ—帝国近代の文化になった巨人 [ほか]

*イスラム社会の覇者として君臨したオスマン帝国。優れた改革を推し進めたスルタン、西洋列強に劣らぬ文化を確立した芸術家、政治に影響を与えた女性など、多様な経歴の10人の人生を通して、大國の興亡をひもとく。

オスラー, W. [1849~1919] Osler, William

◇こんなときオスラー—「平静の心」を求めて 平島修, 徳田安春, 山中克郎著 医学書院 2019.2 190p 21cm (文献あり 年譜あり 索引あり) 2400円 ①978-4-260-03692-4 ②490.4

*医師として最も重要な資質「平静の心」とは？医療者が知っておきたい近代医学・医学教育の先駆者ウィリアム・オスラー博士の教えを、身近な症例や事例をもとに解説する。『総合診療』連載に加筆。

オットー I [912~973] Otto I

◇ドイツ誕生—神聖ローマ帝国初代皇帝オットー1世 菊池良生著 講談社 2022.11 237p 18cm (講談社現代新書 2685) (文献あり) 920円 ①978-4-06-529980-7 ②234.04

【内容】五賢帝時代からハインリヒ一世の登場まで 父ハインリヒの遺産 兄と弟の反乱 第三次イタリア遠征 息子リウドルフの反乱 レヒフェルトの戦い 第二次イタリア遠征 皇帝戴冠 東の間の帰郷 第三次イタリア遠征 ビザンツ帝国との対立 帰郷、そして死

*ヨーロッパ随一の強國は、ひとりの男によって作り上げられた。戦いに明け暮れ欧州を席卷した奇烈な王の物語。

オットー, R. [1869~1937] Otto, Rudolf

◇ルードルフ・オットー—宗教学の原点 澤井義次著 慶應義塾大学出版会 2019.12 293,16p 20cm (文献あり) 3500円 ①978-4-7664-2645-8 ②161.1

【内容】序章 宗教学の誕生—十九世紀ドイツの神学と宗教学 第1章 キリスト教神学者としての生涯 第2章 東洋への旅—原点としてのインド 第3章 「聖なるもの」の比較宗教論 第4章 宗教学史派の影響と宗教の展開性 第5章 東洋と西洋の宗教における平行性 第6章 「絶対他者」の概念とヒンドゥー教 第7章 救済の思想としてのヴェーダーンタ哲学 第8章 新たな宗教理解へ向けて 結論 オットーの三つの顔

*「聖なるもの」の経験を言語化し、「西洋」と「東洋」が出会い、融合するパースペクティヴを追った思想家の生涯と思想を描き出す。

オッペンハイマー, R. [1904~1967]

Oppenheimer, J.Robert

◇核エネルギーの時代を指した10人の科学者たち—あまりに早く発見されすぎた「核分裂」—その発見の歴史から学ぶ、これからの核エネルギー 馬場祐治著 総合科学出版 2020.7 182p 21cm (文献あり) 2000円 ①978-4-88181-879-4 ②429.55

【内容】第10章 ロバート・オッペンハイマー (1904-1967)—「原子爆弾の父」という汚名をきせられた不運の科学者 [ほか]

*核分裂の発見者オットー・ハーンと、その理論的基礎を与えたアインシュタインをとりまく10人の科学者の足跡をたどり、彼らが何をしようとしたのか、何を発見したのかについて、わかりやすく紹介する。

◇ロバート・オッペンハイマー—愚者としての科学者 藤永茂著 筑摩書房 2021.8 447p 15cm (ちくま学芸文庫 747-1—Math & Science) (朝日新聞社 1996年刊の再刊) 1400円 ①978-4-480-51071-6 ②289.3

【内容】優等生 救いと物理学 美しき日々 核分裂連鎖反応 ロスアラモス トリニティ、広島、長崎 プラデンスに欠けた男 核国際管理の夢 戦略爆撃反対 オッペンハイマー 聴聞会 物理学者の罪 晩年

*マンハッタン計画を主導し、原子爆弾を生み出した物理学者オッペンハイマーの評伝。豊富な史料をもとに、彼の足跡を丹念に辿り、政治に翻弄され、欺かれた科学者の実像に迫る。

◇原爆の父オッペンハイマーはなぜ死んだか—長崎に原爆が落とされた謎を解く 西岡昌紀著 飛鳥新社 2021.10 207p 18cm (奥付・背のタイトル: オッペンハイマーはなぜ死んだか) 1200円 ①978-4-86410-770-9 ②559.7

【内容】まえがき 第1章 長崎に原爆が投下された謎を解く 第2章 アメリカはなぜ日本に原爆を投下したのか 第3章 オッペンハイマーの癌 第4章 アメリカは、いかに「原爆」を検討したか 終章 オッペンハイマーの死は何を語るか？あとがき 森永晴彦先生とオッペンハイマー 補論1 アメリカ人はなぜ日本人の原爆に対する感情を理解できないのか？ 補論2 「広島レクイエム」をアメリカ人はどう受け止めたか？

*隠された原爆開発者の被曝。なぜ科学者は2か月後の爆心地を訪れたか？なぜ急転直下、長崎に投下されたのか？76年問伏せられてきたタブーに挑む！

オト [32~69] Otho, Marcus Salvius

◇英雄伝 6 ブルタルコス著、城江良和訳 京都 京都大学学術出版会 2021.5 593,80p 20cm (西洋古典叢書 G116) (文献あり 索引あり 布装 付属資料: 8p: 月報150) 5000円 ①978-4-8140-0346-4 ②283

【内容】デメトリオスとアントニウス デイオンとブルトウス アラトス アルタクセルクセス ガルバ

*紀元50年頃ギリシア本土に生まれたプラトン学者が、古代を追慕しつつ著わした機知と教訓に満ちた伝記集。6には「デメトリオスとアントニウス」「デイオンとブルトウス」などを収録。地図、固有な名詞索引付き。

オナシス, ジャクリーン

⇒ケネディ, J. を見よ

オネディ, P. [1811~1875]

O'Neddy, Philothée

◇悪魔のいる文学史 瀧澤龍彦著 小学館 2022.7 351p 19cm (P+D BOOKS) (底本: 中央公論社 1972年刊) 800円 ①978-4-09-352444-5 ②902.05

【内容】エリファス・レヴィ—神秘思想と社会変革

ザヴィエ・フォルスレー—黒いユーモア ベトリウス・ボレル—叛逆の狂詩人 ビエール・フランソワ・ラスネール—教人と文学 小ロマン派群像—挫折した詩人たち エルヴェ・ド・サン・ドニ侯爵—夢の実験家 シャルル・クロス—詩と発明 ジョゼファン・ペラダンとスタンニラス・ド・ガイク侯爵—世紀末の精緻文字運動 モンフォコン・ド・ヴィラール—精霊と人間の交渉について シニストラリ・ダメノー—男性および女性の夢魔について サド侯爵—その生涯の最後の恋 ザッヘル・マゾッホ—あるエピソード アンドレ・ブルトン—シュルレアリスムと錬金術の伝統

*独特のナンセンス詩を書いた発明家シャルル・クロス。少女を偏愛し、愛の行為を日記にしたためたサド侯爵…。正当な文学史なら話題にものぼらないであろう13人の隠れた異才たちにスポットライトを当てる。瀧澤流文学史。

オノルド, A. [1985~] Honnold, Alex

◇THE IMPOSSIBLE CLIMB—アレックス・オノルドのフリーソロ マーク・シノット著、西川知佐訳 東洋館出版 2022.12 430p 22cm 2000円 ①978-4-491-04769-0 ②786.16

【内容】第1部 若者たち (「オノルド」が、エル・キャピタンでフリーソロをするらしい) クレイジー・キッズ・オブ・アメリカ ストーンマスターズの桶妻 (ほか) 第2部 プロの世界 (リアリティ番組 秘密兵器、ミスター・セイフティ、シャオ・ブン 非常習団 (ほか) 第3部 トップアウト (扁桃体 源 「彼女ってすごい奴なんだ」 (ほか)

*ロッククライマーの聖地と呼ばれるヨセミテ国立公園のエル・キャピタン。地上900メートルを超える世界最大級の断崖絶壁に命綱なしで挑む、アレックス・オノルドの物語。映画「フリーソロ」の裏側を描いたノンフィクション。

オバマ, B. [1961~] Obama, Barack

◇現代アメリカ政治外交史—「アメリカの世紀」から「アメリカ第一主義」まで 青野利彦、倉科一希、宮田伊知郎編著 京都 ミネルヴァ書房 2020.5 362,8p 21cm (Minerva Modern History 2) (年表あり 索引あり) 3200円 ①978-4-623-08809-6 ③312.53

*戦後アメリカの歴代政権はいかなる政治を展開したのか。各政権ごとに大統領の伝記的事績を辿り、内政と外交の運動性や、その時代の歴史的立場づけなどを浮かび上がらせる。人種・移民などの観点から社会の変動をとらえる。

◇僕の大統領は黒人だった—バラク・オバマとアメリカの8年 上 タナハシ・コーツ著、池田年穂、長岡真吾、矢倉喬士訳 慶應義塾大学出版会 2020.11 259p 20cm 2500円 ①978-4-7664-2705-9 ③312.53

【内容】序章 黒人による良き統治について 第1章 二〇〇八年 第2章 二〇〇九年 第3章 二〇一〇年 第4章 二〇一一年 第5章 二〇一二年 第6章 二〇一四年

*アフリカ系アメリカ人が辿った過酷な歴史を踏まえながら、アメリカ初の黒人大統領バラク・オバマと黒人社会が歩んだ8年の軌跡を丁寧に辿る。BLM運動を理解するための必読書。

◇僕の大統領は黒人だった—バラク・オバマとアメリカの8年 下 タナハシ・コーツ著、池田年

ト・サッチャー 結び リーダーシップの規範
*戦時リーダーの成功の秘訣、失敗の理由とは。ナポレオン、ネルソン、チャーチル、ヒトラーなど9人の人格の側面を比較考察し、「危機の時代」のリーダーのあり方を問う。

◇幕末維新の師弟学—出会いが生んだ近代日本
加來耕三著 京都 淡文社 2021.2 242p
19cm 1700円 ①978-4-473-04426-6 ㉔210,58

【内容】 はじめに—「師」と出会う前に考えること 1 維新回天への先駆けとなった師弟—吉田松陰・高杉晋作 2 フランスの“革命の申し子”に憧れた幕末の英傑—ナポレオン一世・佐藤一斎・佐久間象山・吉田松陰・勝海舟・坂本龍馬 3 「適塾」の開かれた学問で与えたもの—緒方洪庵・福沢諭吉 4 權と陽明学が幕府を瓦解させた—無參禅師・王陽明・大塩平八郎・島津奇彬・藤田東湖・西郷隆盛 5 フランス人銀行家に西洋文明を教えられた「日本資本主義の父」—尾高惇忠・フリユリ＝エラル・渋沢栄一
*幕末維新、それは「邂逅」の時代。“非常の時”の出現する“非常の才”の持ち主が日本を変えた。象山も松陰も龍馬もナポレオンに憧れ、西洋兵学を学んだ。名君と畏友との“出会い”が西郷隆盛を覚醒させ、英雄にした。渋沢栄一を“日本資本主義の父”にした師と学習法、ほか。

◇活劇那波列翁傳初編—口語訳 リンデン著、小関三英訳、富安廣次編著 豊橋 これから出版
2021.7 317p 21cm 2000円 ①978-4-903988-11-5 ㉔289.3
*幕末期に刊行されたフランス革命の共和国の自由を唱えたナポレオンの伝記書。

ナポレオンII [1811~1832] Napoléon II

◇ナポレオン四代—二人のフランス皇帝と悲運の後継者たち 野村啓介著 中央公論新社 2019.2 272p 18cm (中公新書 2529)〈文献あり 年表あり〉 860円 ①978-4-12-102529-6 ㉔288.4935

【内容】 序章 ナポレオンの家系 第1章 皇朝の創設者—ナポレオン一世 第2章 ドイツ貴族になったナポレオン—ナポレオン二世 第3章 囚人から共和国大統領、皇帝へ—ナポレオン三世 第4章 帝国復興の期待の星—ナポレオン四世 終章 その後のボナパルト一族

*18世紀末、コルシカ島出身の一軍人から皇帝にのぼった英雄ナポレオン。父帝に憧れ軍功を焦るが、病のため夭折した2世。二月革命を経て大統領に当選、その後クーデタで皇帝となった甥の3世。帝政復興の期待を背負うも、英兵として赴いた戦地で落命した4世。二組の父子、そして一族は栄華と没落という数奇な運命を辿る。革命と激変の時代に「ナポレオン」はどう生き、民衆に求められたか。ボナパルト家から近代史を読む。

ナポレオンIII [1808~1873] Napoléon III

◇ナポレオン四代—二人のフランス皇帝と悲運の後継者たち 野村啓介著 中央公論新社 2019.2 272p 18cm (中公新書 2529)〈文献あり 年表あり〉 860円 ①978-4-12-102529-6 ㉔288.4935

【内容】 序章 ナポレオンの家系 第1章 皇朝の創設者—ナポレオン一世 第2章 ドイツ貴族になったナポレオン—ナポレオン二世 第3章 囚人から共和国大統領、皇帝へ—ナポレオン三世 第4章 帝国復興の期

待の星—ナポレオン四世 終章 その後のボナパルト一族

*18世紀末、コルシカ島出身の一軍人から皇帝にのぼった英雄ナポレオン。父帝に憧れ軍功を焦るが、病のため夭折した2世。二月革命を経て大統領に当選、その後クーデタで皇帝となった甥の3世。帝政復興の期待を背負うも、英兵として赴いた戦地で落命した4世。二組の父子、そして一族は栄華と没落という数奇な運命を辿る。革命と激変の時代に「ナポレオン」はどう生き、民衆に求められたか。ボナパルト家から近代史を読む。

◇世界史を作ったライバルたち 下 アレクシス・ブレゼ、ヴァンサン・トレモレ・ド・ヴィレール編、神田順子、清水珠代訳 原書房
2019.4 272p 20cm 2000円 ①978-4-562-05645-3 ㉔209

*ルイ14世vsオラニエウヴィレム3世からゴルバチョフvsエリツィンまで、世界史の重要なターニングポイントを形成した偉大な人物たちに焦点をあて、それぞれの時代のライバルたちの迫真のドラマを浮き彫りにする。

◇ロイヤルカップルが変えた世界史 下 フリードリヒ・ヴィルヘルム三世とルイーゼからニコライ二世とアレクサンドラまで ジャン＝フランソワ・ソルノン著、神田順子、清水珠代、村上尚子、松永りえ訳 原書房 2021.5 255p 20cm 2200円 ①978-4-562-05931-7 ㉔230

*君主の権力を配偶者が共有した夫婦11組を年代順に取り上げ、その経緯や状況などを紹介する。下は、フリードリヒ・ヴィルヘルム三世とルイーゼから、ニコライ二世とアレクサンドラまでの5組を取録。

ナポレオンIV [1856~1879] Napoléon IV

◇ナポレオン四代—二人のフランス皇帝と悲運の後継者たち 野村啓介著 中央公論新社 2019.2 272p 18cm (中公新書 2529)〈文献あり 年表あり〉 860円 ①978-4-12-102529-6 ㉔288.4935

【内容】 序章 ナポレオンの家系 第1章 皇朝の創設者—ナポレオン一世 第2章 ドイツ貴族になったナポレオン—ナポレオン二世 第3章 囚人から共和国大統領、皇帝へ—ナポレオン三世 第4章 帝国復興の期待の星—ナポレオン四世 終章 その後のボナパルト一族

*18世紀末、コルシカ島出身の一軍人から皇帝にのぼった英雄ナポレオン。父帝に憧れ軍功を焦るが、病のため夭折した2世。二月革命を経て大統領に当選、その後クーデタで皇帝となった甥の3世。帝政復興の期待を背負うも、英兵として赴いた戦地で落命した4世。二組の父子、そして一族は栄華と没落という数奇な運命を辿る。革命と激変の時代に「ナポレオン」はどう生き、民衆に求められたか。ボナパルト家から近代史を読む。

ナムロン [1969~] Nam Ron

◇マレーシア映画の母 ヤスミン・アフマドの世界一人とその作品、継承者たち 山本博之編著 京都 英明企画編集 2019.7 477p 21cm (シリーズ 混成アジア映画の海 1)〈文献あり 作品目録あり 年譜あり 索引あり〉 2500円 ①978-4-909151-21-6 ㉔778.2239

【内容】 はじめに一現実と切り結ぶ「映画の力」を珠玉の作品群にみる 第1部 ヤスミン・アフマド作品の

混成的な特徴と魅力—演出、情報提示、脚本、翻訳の視点から 第2部 多層的・多義的物語世界の愉しみ方—長編六作、短編一作を読み解く 第3部 ヤスミン・ワールドを支える人びと—先行の映画人・舞台人たちの物語 第4部 伴走者・継承者たちの歩み—約束を守り意志を継ぎ伝える者 資料

*「細い目」「グブラ」「タレントタイム」等の作品を通じて「もう一つのマレーシア」を描いた、不世出の映画監督ヤスミン・アフマド。彼女が遺した全長編作品を、民族、宗教、言語、権力など社会的背景を踏まえ多角的に読み解く。

ナライ [1632~1688] Narai

◇アジア人物史 7 近世の帝国の繁栄とヨーロッパ 姜尚中総監修、青山亨ほか編集委員 三浦徹他著 集英社 2022.12 769p 20cm (付属資料:12p:月報7) 4000円 ①978-4-08-157107-9 ㉔282

*古代から21世紀へと駆け巡った人物たちの評伝を積み重ねて描く本格的アジア通史。7は、16~18世紀の歴史人物たちを、テーマごとに、主人公、副主人公、彼らに関連するその他の人物に分けて解説する。

ナレースアム [1555~1605] Naresuan

◇アジア人物史 7 近世の帝国の繁栄とヨーロッパ 姜尚中総監修、青山亨ほか編集委員 三浦徹他著 集英社 2022.12 769p 20cm (付属資料:12p:月報7) 4000円 ①978-4-08-157107-9 ㉔282

*古代から21世紀へと駆け巡った人物たちの評伝を積み重ねて描く本格的アジア通史。7は、16~18世紀の歴史人物たちを、テーマごとに、主人公、副主人公、彼らに関連するその他の人物に分けて解説する。

ナワリヌイ, A. [1976~] Navalnyi, Aleksei

◇ナワリヌイ—プーチンがもっとも恐れる男の真実 ラン・マッティ・ドルバウム、モルヴァン・ラルーエ、ベン・ノープル著、熊谷千寿訳 NHK出版 2021.11 350p 19cm 2300円 ①978-4-14-081884-8 ㉔312.38

【内容】 第1章 アレクセイ・ナワリヌイとは何者か? 第2章 反汚職活動家として 第3章 政治家の誕生 第4章 抗議者として 第5章 クレムリンVSナワリヌイ 第6章 ナワリヌイとロシアの未来

*ロシア当局が命じたとされる毒殺未遂事件、療養先から帰国直後の拘束—その安否が国際的な注目を集めるロシアの反体制派指導者ナワリヌイ。何度も収監されながらも強権的なプーチン政権を揺さぶってきた活動家は、いかにしてクレムリン最大の脅威となったのか? 英雄視される一方で煽動家、差別主義者とも呼ばれるその実像とは? ロシアの奥深い闇と複雑な社会構造を抉り出す迫真のノンフィクション。

ナンシー, J.L. [1940~2021]

Nancy, Jean-Luc
◇ジャン＝リュック・ナンシーと不定の二人称 伊藤潤一郎著 京都 人文書院 2022.2 328p 20cm (文献:p309~324 索引あり) 4500円 ①978-4-409-03113-1 ㉔135.5

【内容】 第1章 人格主義の影—一九六〇年代のナンシーの思考について(一)(ムーニエの人格主義—召命の起源論と人間の目的論との絡み合い 人格主義の批判的継承者としてのナンシー—一九六三年「ある批熟」) 第2章 デリダとの出会い—一九六〇年代のナンシーの思考について(二)(根源的なものとしての差異—一九六六年「マルクスと哲学」 アナーキー—書き込み—一九六九年「注釈」) 第3章 言表行為と不定の人称—一九七〇年代の主体論について(カントにおける空虚な主体—「文学的絶対」の主体論ヌーヴォー・フィロゾフに抗して—「エゴ・スム」をめぐるコンテクスト ほか) 第4章 言語から存在へ—一九八〇年代の共同体論について(「分有」という語の登場—一九八二年「声の分有」存在は言語に先立って—一九八三年「無為の共同体」 ほか) 第5章 意味と投機通信—不定の二人称への言表行為(意味と意味作用、意味と真理 古名の戦術と人格主義の残響 ほか)

*独自の共同体論を提示した現代フランス哲学の巨星ジャン＝リュック・ナンシー。50年に及ぶ活動の全体を見据え、共同体論にとどまらないその思考の核心に迫る。

ナンセン, F. [1861~1930]

Nansen, Fridtjof
◇フリチョフ・ナンセン—極北探検家から「難民の父」へ 新垣修 太郎次郎社エディタス 2022.12 317p 20cm (年譜あり 文献あり) 2400円 ①978-4-8118-0853-6 ㉔289.3

【内容】 人生の出航 グリーンランド横断 前へ! 極北へ 学者として 外交官として 捕虜の帰還 ロシア飢饉 難民支援 住民交換 前へ! 平和へ 永遠への出航

*未踏の極北に挑んだ科学者は、第一次世界大戦後の混乱のなか、戦争捕虜や飢饉に苦しむ人びとを救うために奔走する。戦争、難民、食糧危機—。いまだ漂流しつづける人類への伝言。

ナンニ・ディ・バンコ [1380?~1421]

Nanni d'Antonio di Banc
◇美術家列伝 第2巻 ジョルジョ・ヴァザーリ著、森田義之、越川倫明、甲斐教行、宮下規久朗、高梨光正監修、森田義之ほか訳 中央公論美術出版 2020.2 751p 29cm (文献あり) 30000円 ①978-4-8055-1602-7 ㉔702.37

*美術家の伝記に美術家の美術史的位置、簡単な経歴などを付載し、現存する作品の図版を掲載した書。第2巻は、ヤコポ・デッラ・ケルチャ、ジュリアーノ・ダ・マイアーノ、コジモ・ロッセッリを取り上げる。

【二】

二一, W. [1903~1972] Ncc, Watchman

◇流れに逆らいて—ウォッチマン・ニー物語 アンガス・キンニア著、蘇畑卓郎訳 みなも書房 2020.11 256.24p 21cm (文献あり) 1200円 ①978-4-9909365-3-2 ㉔198.992

【内容】 賜り物 汝の先祖を敬え 革命 献身 意に反して 信仰の証明 外国の働き場所 古い革袋 脆い土の器 幻滅 新しい地平線 再考 最盛期 撤

伝記・評伝全情報 2019-2022

西洋編

2023年7月25日 第1刷発行

発行者／山下浩

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴木ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／株式会社平河工業社

© Nichigai Associates, Inc. 2023

不許複製・禁無断転載

《中性紙北越淡クリームキマリ使用》

〈落丁・乱丁本はお取り替えいたします〉

ISBN978-4-8169-2970-0

Printed in Japan, 2023

本書はデジタルデータをご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。